

毎 日 新 聞

インドネシアのダム決壊事故

医療チームを派遣

AMDA

インドネシア・ジャカルタ近郊のバンテン州タンゲランで3月27日に起きた豪雨によるダムの決壊事故を受け、国際医療救援団体「AMDA」（北区）は、現地支部による緊急医療チームの派遣を決めた。

AMDAによると、被災規模はWHO（世界保健機関）の発表で死者98人、負傷者190人、行方不明者5人（同30日現在）。約400戸が濁流にのみ込まれ、900人以上が家を失ったという。

同31日からインドネシアの医師、医学生計3人が避難所で巡回診

療を行っている。医薬品が不足しているため、抗生物質や下痢止めなどを持ち込んで診療している。4月2日には、避難所の医療キャンプに医薬品を寄贈した。子供の心的外傷

を和らげるため、遊びやビデオ上映会、本や文具セットの配布なども行っている。

義援金は、郵便振替01250-2-40709 □座名「特定非営利活動法人アムダ」。通信欄に「インドネシア・ダム決壊」と記入する。

【椋田佳代】



被災者の診療にあたるAMDAインドネシア支部の医師（AMDA提供）